

平成 29 年度 多職種連携研修計画

1. 基本方針

平成 29 年度の研修は『相互理解』をテーマに開催する。

具体的には、関係する各専門職種の職域および仕事内容を知る機会を設けることや、職種を超えた顔の見える関係の構築、また、それぞれの職種の事情を知らないが故に生じている思い違いや誤解の解消等を研修の内容とする。

今年度は、これまで例年開催している大規模な多職種連携研修に加え、同テーマで 4 回の中小規模の研修も開催することとし、医療関係者対象の研修と、介護関係者対象の研修をそれぞれ 2 回開催する。医療関係者には介護側の事情を、介護関係者には医療側の事情を知って頂く機会とする。

医療関係者対象の研修では、外部での研修には参加が難しい急性期病院に勤務する医師なども参加がしやすいよう、その急性期病院を研修会場とするなどの工夫を行い実施することを検討している。

今年度は、すべての研修のテーマを『相互理解』とし、この地域の専門職種間の距離や隔たりを縮め、顔の見える関係の中で更に連携が高められることを目途として、研修を開催する。

また、このテーマは今年度だけのものにとどめることなく、今後も恒久的なテーマとして取り上げ、継続させていく必要があるものと考えている。

2. 研修目標

- 1) 関係多職種のそれぞれの業務内容と役割を理解できる
- 2) それぞれの専門職種団体が交流できる（顔の見える関係作り）
- 3) お互いの役割の理解や、困りごとの解決、お互いが思い描いている誤解の解消

3. 具体案

1) 大規模研修

日 時：平成 29 年 11 月 25 日（土） 14：00～17：00

場 所：花びしホテル（函館市湯川町 1-16-18）

懇親会：花びしホテル（函館市湯川町 1-16-18）

内 容：

- ① 「函館市医療・介護連携支援センター」の実績報告と地域の課題を共有する
 - ・ センターの実績報告に加え、多職種連携を円滑に行うために、医療・介護相互の機能の理解や役割分担について講演（講師：高柳 靖係長（30分））

② シンポジウム形式にて各専門職種を紹介

- ・ 架空の事例を通して自分たちができること、どのように対象者を支えていくことができるのか各専門職種の役割をそれぞれに紹介

(シンポジスト：医師（主治医），歯科医師，薬剤師，看護師，MSW，
ケアマネジャー，包括，訪問看護師，リハ職（訪リハ），
施設職員，柔整，鍼灸マッサージ師，ヘルパー，訪問入浴等）

③ シンポジウムの事例をもとにグループワーク

- ・ 相互理解の必要性について検討

(進行役：未定 (②，③合わせて120分予定))

2) 中小規模研修

(医療関係者側へ)

テーマ：介護関係者側の理解 (制度や職種の職域，介護側の事情等)

日 時：10月，2月それぞれ1回ずつ

場 所：調整中（急性期病院などを予定）

講 師：介護関係者

(介護関係者側へ)

テーマ：医療関係者側の理解

(制度や介護側の疑問の解決，病床機能，医療側の事情等)

日 時：10月，2月それぞれ1回ずつ

場 所：函館市医師会病院 5階講堂，テレシアター（市営函館競輪場）等

講 師：医療関係者

3) 先進的研修との協働

◎ 地域医療支援病院講演会との協働

日 時：平成29年6月28日（水）19：00～20：30

場 所：函館市医師会病院 5階講堂

テーマ：「弘前地区在宅医療・介護連携支援センター『そよかぜ』の舞台裏
～認知症対策を考えながら～」

講 師：弘前市医師会介護保険委員会 副担当理事

すとうクリニック 院長 須藤 武行 先生

4) その他

- ・ 市民向け出前講座（高齢者大学や地域包括支援センターと協働等にて実施）
- ・ 各種団体からの依頼の都度対応
- ・ 希望に応じて各病院の医局会への出前講座等を実施